

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary
寒川ロータリークラブ



子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年へ～
『応援しよう 寒川の子どもたち』

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F
TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027
例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30

会長 山本和好 幹事 島村盛晶

会報委員(クラブ管理運営委員会)

眞原 浩 中村 靖 秋本茂雄 石塚雄司 遠藤弘美
茂内 勝 清水 功 下里宏規 鈴木正秋 三留通男

第2350回例会 2026年3月23日(月) 晴れ一時雨

司会 下里副幹事

斉唱 奉仕の理想 ソングリーダー 三留クラブ管理運営委員

メイクアップ【本日分】 三澤会員(茅ヶ崎湘南RC)、藤会員(平塚湘南RC)

会長の時間 山本会長

先週は祝日週で休会でしたので2週間ぶりの例会になります。よろしくお願いたします。先週、3月13日(金)に平塚湘南RCさんの例会に藤さんと行ってまいりました。自クラブの例会の欠席補填として他クラブの例会に出席することをメイクアップといいますが、私の場合入会6年目ぐらいまで1回も行ったことがなく、6年目に初めて行かせていただいたのが津久井中央RCでした。当時、島村会員が地区職業奉仕委員会副委員長として、当時のガバナーの佐藤祐一郎さんのクラブに卓話に行かれるということで、話を聞きに金子会員と藤会員と小澤会員とで行きました。その後、平塚RC、茅ヶ崎RC、茅ヶ崎湘南RC、藤沢RC、とメイクアップに伺い、先々週が平塚湘南RCということで、これまで6クラブを訪問しました。メイクアップは欠席を補填するというだけでなく、他クラブの例会に出席すると非常に面白いし、参考になることが多いです。クラブのいいところ、悪いところが見えてきたりします。茅ヶ崎RCは寒川の親クラブなので、例会の進行がとても似ています。また、最初に行った津

久井中央RCは商工会館の2階が例会場で建物自体は古く、長テーブルを口の字に並べてお弁当を食べ和気あいあいとした感じで、例会開始の時は子どものオルガンみたいな楽器を弾いて音楽を流していました。出席補填という面だけではなく、入会間もない会員さんもぜひ他クラブの例会に出席して他クラブを見ていただきたいと思います。まして、顔見知りの方が一人でもそのクラブにいとまた全然違うのではないかと思います。ちなみに、遠藤会員は綾瀬RCにお知り合いがいると伺いました。今度一緒に行きましょうと話していますので、よろしかったら一緒に行ってください。さて、先日お彼岸で墓参りをした際にお寺の桜を見ましたら、ちょこちょこ咲き始めていました。これから暖かい日が続くとすぐに満開になってしまいそうです。4月6日の花見移動例会まで何とか残ってほしいですね。例年のことですが、この花見移動例会と桜の見ごろがぴたっと合うのはなかなか難しいですね。まあ、桜がなくても「花より団子」ということで、みんなで集まってお酒を飲んでお話しするだけでも楽しいので「それもまた良

出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
37名	35名	29名	82.86%	第2347回 82.86%
本日欠席者	加藤会員、椎野会員、山本哲会員、帆刈会員、吉田会員、石丸会員			

し」と思っています。おととしの報徳会館での花見例会は桜がまだ咲いていなくて、ここに咲いていたら素敵だろうなと思った場所だったので、今回、何とか残ってくれればいいなと思いながら、ご先祖様に手を合わせてきました。

幹事報告 島村幹事

例会変更

茅ヶ崎中央RC

週報受理

なし

その他受理

●ガバナー事務所

～ロータリー財団奨学生帰国報告会開催案内(4/4(土) 15:00～ 於:第一相澤ビル)

～2026年クラブリーダーシップラーニングセミナー開催案内(4/19(日)12:00～ 於:国際医療福祉大学 小田原キャンパス 登録料:8,000円/人)

回覧

○RID2750地区米山学友会設立10周年記念式典開催案内

○第2回IFMR:International Fellowship of Motorcycling Rotarians ジャパン大会開催案内

出席報告 石塚クラブ管理運営委員

委員会報告・地区および地域出向者報告

親睦活動委員会 金子委員長

こんばんは。会長から6日の話がもう出てしまいましたが、2年前は一輪も咲いていない花見でしたが、今年は多少残って桜吹雪のような形で花見ができるのではないかなと思っております。36名の参加をいただいておりますが、今後欠席をされるとお金がかかるような時期にきております。ぜひ当日皆さんの参加をよろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。

同好会報告

なし

第2350回スマイルボックス

茂内クラブ管理運営委員

合計30,000円

◎山本会長・島村幹事

1.井上長期ビジョン委員長、今日はよろしくお願いいたします。

2.遠藤会員、新会員スピーチ楽しみにしています。遅くなってすみませんでした。

◎遠藤会員

先日13日に孫No1が幼稚園を卒園しました。映像だけでしたがなぜかウルウルしてしまいました。また、本日はスピーチをさせていただき、ありがとうございます。

◎藤会員

本日藤は欠席します。名古屋より友人家族が来て旧友と親交を深めております。久しぶりに再会するのでスマイルいたします。

◎青木、秋本、石腰、石塚、磯川、井上(晋)、井上(稔)、内野、小澤、金子、菊地、茂内、清水、下里、鈴木(郁)、高波、中野、中村(光)、中村(靖)、眞原、三留、村松、森嶋、各会員

1.クラブフォーラム:長期ビジョン実行委員会 井上委員長

「第2回インクルーシブなスポーツ体験イベント実施に向けて」

3月9日は「第2回インクルーシブなスポーツ体験イベント」についてフォーラムを行いました。今回は今後の事業の方向性について皆さんのご意見をいただきたいと思います。石腰会長年度に長期ビジョン検討委員会が作られ、その後2年ほど掛けて検討を重ね、小澤会長年度に長期ビジョン実行委員会へ移行し、「第1回インクルーシブなスポーツ体験イベント」が開催されました。今年度は山本会長のもと、5月16日(土)に「第2回インクルーシブなスポーツ体験イベント」が行われます。当初の予定のまま5年継続開催で進めた場合、次年度中野会長が第3回開催、次々年度島村会長が第4回開催となります。島村会長年度には「第4回インクルーシブなスポーツ体験イベント」の開催と同時に、次の事業:子どもたち応援イベントを考える年度になりますが、少しでも時間に余裕をもって検討をし、皆さんの意見等を反映して次の「子どもたち応援イベント」に繋げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。当初の予定通り第5回まで実施したあと、「インクルーシブなスポーツ体験イベント」を終了し、次の「子どもたち応援イベント」を企画する場合、どのような応援イベントにするか。単に物品の提供等ではなく、寒川RCメンバーが子どもたちとかかわって一緒に出来るイベントを考えて下さい。例えば、何年か前に第4グループで子どもたちと行ったアユの放流や、寒川クラブではゴルフが盛んなのでチャリティゴルフの開催、また、寒川町が行っているスポーツDAY:10月12日(月・祝)と共催、お金はかかるでしょうが、スポーツ選手と呼んで町民センターで講演してもらう、など。一人ずつご意見をいただけますでしょうか。

- 競技としては一般的なものがいい。野球とか、サッカーとか。
- 昔子どもの頃やったソフトボール大会はどうか。
- 数が多すぎると一つ一つの体験時間が短くなってしまふのが残念。BMXは初心者には難しく、短い時間では面白さが伝わらないのでは？もうちょっと数を絞って1つの競技を長い時間体験してもらおうのもありかなと思うところがありました。
- 年齢別の体力テスト
- 子どもと一緒に遊ぶスポーツ。缶蹴りとか鬼ごっことか昭和の遊び。
- スポーツ教室。アスリートを呼んで講演してもらおうとか、指導してもらおうとか。その年によって競技を変えて。
- 体力がない子どもが増えている気がするので、最初に体力測定をして、その子の弱点のトレーニング方法を教える。ここを直すとこんなにできるようになるよ、といった。
- 年齢層にもよりますが、子ども達と一緒に畑で作物を作るとか、花を育てるとか。一緒に収穫の喜びを経験させてあげること。
- 最近テレビでよくやっているキッズニア。子どもの職業体験ですね。
- テレビでしか見られないような選手に来てもらって指導していただく。自分はすごくワクワクして、その後もその競技に対する意欲が湧いたので。
- メジャーじゃないスポーツに特化して取り上げることで、寒川町をそのスポーツの聖地にする！
- 第1回目はとっかかりとしてスポーツを取り上げたが、他の方の意見にもあったように寒川町には休耕田がたくさんあるので、育てて収穫する楽しさを子どもたちと一緒に体験するというのはいいと思う。スポーツに関しては、先日事業所訪問で伺ったDeNAさんに相談ののってもらって一緒に取り組むことができたらいいのかなと思いました。
- 花植えや農作業の話もあったが、その場合年齢制限が必要になると思うので、制限をしないで幅広い年齢層の子どもたちを対象にするなら前回のようなスポーツ体験がいいのではないかなと思う。
- スポーツではないが子どもたちと一緒に寒川町の名所巡りはどうでしょう。途中途中で宝探しゲームのようなものを用意して、みんなで探検してみるというように。できれば専門の案内の人に名所の説明をもらって、子どもたちにも聞いてもらう機会もあればいいのかな。もう一つは子どもたちとバーベキュー大会なんかどうかと考えています。
- 前回やったスポーツ体験のようなことを中学生、高校生、大学生たちに教えて、ボランティアを頼んで参加してもらってはどうか。
- 今回は7競技ありますがその中でどれか一つを選んで実施する。
- 何人が言われていましたが、野菜の苗から育てて、収穫して、最後は調理して一緒に食べるといったようなことがいいと思いました。これは食べ物大切さを学ぶ食育として子どもたちにはいい教育になるのではないかな。そして、今やっていることを5年間で終えた後は、他の団体・町などに受け継いでいくことを一緒に考えながら、残り2年間の活動をどう進めていこうかが大切だと思いました。
- 一点目は、寒川町の子どもたちに本物のプロの競技を見てもらう。例えば、神奈川県には複数のプロサッカーチーム、藤沢にはバスケットボールチーム、先ほど話に出た野球のDeNAが横浜にあります。そういうところの試合に子どもたちを招待してあげつつ、プロあるいはプロ経験者の方にどうやって人間形成したのかななどを指導・アドバイスしてもらおうというセットにしてはどうか。観戦をサポート・招待する。もう一つが、自分が子供の時に印象深かったこととして、海岸まで飲まず食わずで行って帰ってくるというのがありました。ただ、今はコンプライアンス違反になりかねないとは思いますが、そういうのも面白いのかなと思いました。
- 子どもの頃によくやったオリエンテーリング。昔は地図と磁石を持ってやっていたと思いますが、今は携帯でもっと面白くできるんじゃないかな、と。携帯を使って歩き回るのも今の子どもたちにはちょっと楽しめるかなと感じました。あと、先程バーベキューという話もありましたが、昔ながらの火起しから楽しんでやったりすることによって、家族でやるバーベキューとはまた違ったバーベキューもできるのかなと思いました。
- 5回目が終わった後は、寒川を子どもたちにもっと知ってほしいなあと思います。例えば縄文の土器。岡田の越の山の畑に行くと、いまだにたくさん出てくるんだそうです。で、例えば、「ドキドキ♡土器探し」。あらかじめ土器を置いておいて子どもたちと一緒に探したりして、こういうものが寒川の地面に眠っているんだよと。小学校で土器について勉強をすると思うので、その流れで対象の子たちに寒川を知ってもらおう。あと、このイベントの第4回目が私の年度の28年度になるのですが、7月にロサンゼルス夏季オリンピックが開催されます。オリンピックの後にパラリンピックが開催され、春頃にこのイベント、とちょうど盛り上がってくる時期であり、この「インクルーシブなスポーツ体験イベント」にはピッタリではないかなと思っております。
- 参加する子どもたちの対象が幼稚園児か小学生か中学生かということで、内容も違って来るだろう。ま

た、毎年同じことをやるのか、対象年代を変えて違うものをやるのかでも違って来るだろう。子どもたち誰でもができるものだとするとイベント的なものになるだろうし、サッカー・野球・バスケット・バレーといったスポーツをやるとしたら、専門家をお呼びしてそういう教室をやって、最終的には試合をやるとか、そういうことに子どもたちは興味があるのかなと思います。

○大縄飛びはどうでしょうか。みんなでワーっと集まって、結構盛り上がるのではと思いました。

○子どもたちを対象とすると難しい。幅が広いし何か事故などあると問題になってしまうし、保険等もかけなければいけないし。1つのスポーツ競技に絞ってしまうと、そのスポーツをやっている子、興味を持っている子しか参加してくれないという形になる。ロータリーとして長期に渡って続けて応援していくのか、また違う方向に行くのか、もうちょっとみんなで深く考えてみたほうが良いような気がします。

○子どもたち応援イベントの次の企画ということなので、スポーツの後は楽器・音楽に触れ合うというようなイベントはどうでしょう。また、子どもたちに新たな刺激、モチベーションを与えるようなイベントとするならば、大道芸を呼ぶというのも面白いんじゃないかなと思いました。

○まず年齢層を決めていかないとイベントの中身が決められないのではないかな。そのイベントに関しても、子どもたちが毎年それを楽しみにしてくれるような、喜んでもらえるようなものを選んであげたいと思います。

○休耕地を借りて、そこに子どもたちと一緒に作物を植え、その作物を収穫しみんなで一緒に食べ、残ったものを子ども食堂に寄付する。作物＝イモ類、米、もち米など。あとは以前実施したミニ運動会。

皆さん、ご意見ありがとうございます。これをまた委員会でもんで、新しいイベントに繋げていきたいと思います。ご協力どうもありがとうございました。

2. 新会員スピーチ：遠藤弘美会員

昨年の6月に入会させていただきました遠藤弘美です。新会員スピーチということで、私はこんな人間ですというところをお話ししようと思えます。本当に波乱万丈な時を過ごしてきました。生年月日は1964(昭和39)年11月3日生まれです。文化の日であり、東京オリンピックの開催とか東海道新幹線開通といった年に、4人兄弟の長女として藤沢市の北部、用田で生まれました。小さい頃は結構男の子の中で元気に遊んでいました。神社の広場で野球やフットベースをやったり、何しろ元気な女の子でした。藤沢市の御所見幼稚園、御所見小学校、御所見中学校を経て、厚木商業高校商業科に入学

しました。なぜ商業高校を選んだのかというと…。1歳の頃に治療した先天性股関節脱臼の後遺症で、本来ならば激しい運動はしてはいけない状態だった私ですが、小学校4年生から御所見スポーツ少年団に入団。すごく強いチームで全国大会にも出場したりしました。中学ではバレー部に入りましたが、2年生の新人戦までという母との約束と、その後のドクターストップによりバレー部をやめて合唱部に入部、両親が心配して「座って仕事のできる商業・事務系がいいだろう」と言われたからでした。でもその商業高校のバレー部の先生から誘われ、結局またバレーを始めてしまいました。その後、小田原女子短期大学幼児教育学科に入学。卒業後は社会福祉法人ゆりかご園という1歳から18歳までの男女の子どもたちを預かる児童養護施設に就職し、男子寮の保母として働きました。20歳の私が18歳になる高校3年生の男の子達を指導するというような経験もして、子育てのような仕事をし、すごく勉強になりました。その後、当時母が勤めていた綾瀬厚生病院で託児所の保母として夜勤の仕事をするようになりました。その頃、横浜の工務店に勤め、4トンユニック車で型枠材を運んでいた父が急に体調を崩して仕事ができなくなってしまいました。そこで、私とその父の仕事を引き継ぐことになり、夜は病院の託児所で勤務し、翌日はトラックに乗って型材をあちこちの現場に運ぶという生活を送っていました。ちょうどバブルの全盛期で、今の人たちはそんな経験をしたことがないと思いますが、女性の私が2つの仕事を掛け持ちしていたとは言え、帯のついたままのお札が入ったお給料袋をポンっと渡されたということがすごく大きな経験となりました。私が今まで働いた中で一番稼げた時です、その後25歳の時に結婚をし、5人の子どもを授かりました。平成2年5月に長女、平成4年10月に長男、平成6年1月に次男、平成10年2月に三男四男の双子が生まれました。その5人の子育て中に、小谷小学校で子どもたちを見ていただきながらPTA会長を2期務めました。その間に寒川保育園で保護者会長を務め、小谷小で2期目のPTA会長の時には寒P連会長、県P理事を兼任し、次年度は県のPTA協議会で常任理事、次の年度に書記、4年目には副会長まで経験させていただきました。PTAに関わる前は家の中で5人の子どもを育てることにいっぱいいっぱい、自分のために使う時間なんて全然なかったのですが、PTAの諸々のお役を経験できたことによって、私でもまだまだ外に出て、たくさん吸収出来るものがあるんだなあと感じました。私が初めて会長を受ける前、PTA会長を受けてくださいとお願いすると、皆さんが断ってくる理由が「すみません。うち小さい子がいるので!」「ごめんなさい。うちおじいちゃん、おばあちゃんがいるので!」「すみません。私、働いているので!」と言われることがほとんどでした。当時私は同居はし

てなかったものの、両親が近くにいて一緒に時間を過ごしたりしていましたが、5人の子どもがいて一番下の双子が保育園の年長でしたし、そんな時にPTA会長の依頼があったので「私には小さい子が2人もいる!」「ウチは自営業で経理事務ほとんど私がやっている!」だからできない?と思ったのですが、そんな私がもしPTA会長になったら、他の人たちは断る理由がないんじゃない?私みたいな人がPTA会長になったら、みんなが、誰もができるんじゃない?と思い直しました。皆さんに「(旧姓)岡田さんみたいな人がやっているんだから、私もできるんじゃないかな?」と思ってもらえたらいいなと、会長を受けてみたんです。そこでまた、いろいろ勉強と経験をさせていただきました。また私は大きな病気を何度も経験しました。離婚するのに3年かかり、やっと落ち着いた時、一番下の子どもたちが中学校になったばかりでした。左後頭部に激痛、椎骨動脈解離から、解離性脳動脈瘤という病気でした。自分で病院に行った時には即ICUに1週間入院となりました。毎日目が覚めると隣の人がいなくなっていたり、夜寝てしまったら明日がないのかなと眠れない夜を過ごしたりという経験をしました。40日以上入院をして、本当はそのときに生活保護申請を受けてから退院しなさいと担当の医師から言われたのですが、子どもが5人、そのうち4人が男の子なので進学に差し支えらると思い生活保護を受けずに退院をしました。そこから就職活動をして、いろいろなところの面接を受け、事務職や運転手、夜のバイトなどをして働いてきました。一番働いた時には、朝の5時から4階建ての茅ヶ崎郵便局のトイレを8時まで掃除をして、そのあと9時から18時まで茅ヶ崎の香川の会社で正社員として働き、19時から23時までスナックのバイト。今考えるとよくできたなと思いますが、今までの全てのことは私の人生の中のプラスの部分でしかないなと思います。おとしには心房細動の発作が突然起きてしまい、心房筋を焼いて心房細動を起こさせないようにするカテーテルアブレーション手術もしました。子どもたちからは「お母さんは頭の病気も、クモ膜下になってしまう人もいるけれど助かった。心臓が止まっちゃって亡くなる人もいるけど、お母さんは助かった。お母さんもう怖いものないね!好きなことをやったら?」と言われました。そして今、この寒川ロータリークラブに入会させていただいております。PTAの時と一緒にです。この素晴らしいメンバーの中に私がいられるということが信じられないぐらいなんですけれども、私みたいな人間でもロータリーに参加できるんだ。「ロータリーってこういうことをやっているんだよと、私が少しずつ理解をして少しずつ身近な人たちに広めて行かれたらなあ」なんて今は思っています。入会当初は1年間だけ勉強のためにと思っていたのですが、今はできることなら少しずつ、まだまだ勉強して行きたいなという気持ちが

強くなってきております。こんな未熟者の私ですが、これからどうぞよろしくお願いいたします。